

# 棚付2連紙巻器

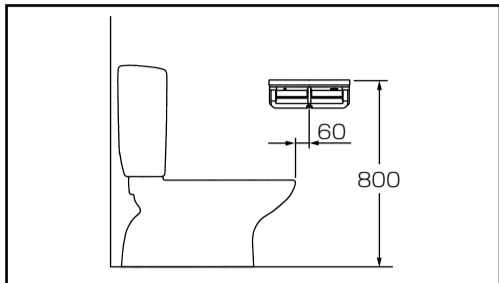
CF-AA64  
CF-AA64KU  
CF-AA64S

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

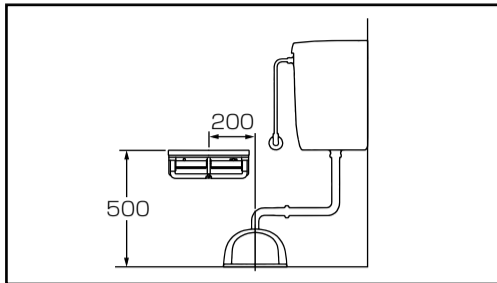
## ●取付位置

下図は取付参考位置です。  
現場の状況に応じて取付位置を決めてください。

洋風便器の場合



和風便器の場合



## ●安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 用語および記号の説明

#### 注意



----- 「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



----- 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）



----- 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

## ●施工方法

※取付壁は必ずフラット面を確保してください。（不陸がある場合は、ワッシャー等で調整してください。）

壁工法	取付部材	施工上の注意	施工要領
乾式壁	タッピンねじ 同梱部材  タッピンねじ (φ4、L=35) 4本 必ず同梱のものを使用してください。	板厚は 30mm 以上確保してください。板厚が足りない場合は、壁裏への取付木（補強木）を設けて、板厚が 30mm 以上となるようにしてください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	1. 棚が水平になるように紙巻器の取付穴位置を取付場所にマークします。（図 1） 2. 下穴を 4 箇所あけます。下穴径はφ 3～3.5mm（深さ 35mm）です。（図 2） 3. 4 本のタッピンねじで取り付けます。（図 3） ※長さ 120mm 以上のドライバーが必要です。 ※ドライバーで紙切り板や棚をキズつけないよう注意してください。 ※アームを出した場合は、本体へ戻してください。戻さないとアームにぶつかってケガをしたり、アームが破損する恐れがあります。

※ ボード張りの厚みが 12.5mm を越える場合は、越えた分だけ長いタッピンねじを別途用意してください。

壁工法	取付部材	施工上の注意	施工要領（※詳細は、工事用図面集をご覧ください。）												
湿式壁	AY ボルト（別売）  ワッシャー ゴム筒 外筒 小ねじ 4本	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁仕上材（モルタル、モルタル+タイル）の厚みによって使い分けてください。</li> <li>30mm を越える場合は、越えた分だけ長い AY ボルトを別途用意してください。</li> <li>当社の AY ボルトを使用できる壁仕上材の厚さは次の通りです。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>壁仕上材の厚さ</th> <th>当社 AY ボルト</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>20 mm以下</td> <td>AY-21W</td> <td>別売</td> </tr> <tr> <td>20mm～30mm</td> <td>AY-22</td> <td>別売</td> </tr> <tr> <td>30 mm以下</td> <td>なし</td> <td>別途用意</td> </tr> </table>	壁仕上材の厚さ	当社 AY ボルト	備考	20 mm以下	AY-21W	別売	20mm～30mm	AY-22	別売	30 mm以下	なし	別途用意	1. 紙巻器の取付穴位置を取付場所にマークします。 2. コンクリートドリルを使用して下穴をあけます。（図 4） 下穴寸法は下表の通りです。 3. 外筒をボルトに取り付けたまま下穴に差し込みます。（図 5） 4. ゴム筒の端を壁面から出ないように押さえて、小ねじの頭部を強く引っ張ってからゴム筒、小ねじを外します。（図 6）（図 7） 5. 紙巻器を小ねじで取り付けます。（図 8）
壁仕上材の厚さ	当社 AY ボルト	備考													
20 mm以下	AY-21W	別売													
20mm～30mm	AY-22	別売													
30 mm以下	なし	別途用意													

※ ALC 板やコンクリートブロックの中空部には取り付けできません。

※木ずり下地、ラスボード下地への取り付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に厚さ 30mm 以上の取付木を入れ、必要なねじ込み深さを確保してください。

※施工後、紙切板裏の重りケースがきちんと取り付けられているか確認してください。

※シャワートイレ用リモコンをご使用の場合、付属の説明書に従って施工の上、リモコンが正常に作動することを確認してください。

⚠注意	
修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※故障する恐れがあります。	 指示実行
各下地の取付方法をよく読み、十分な下地の厚さ、および補強があることを確認してください。 ※下地に十分な厚み・補強がないと、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、ケガをする恐れがあります。	 指示実行
屋外や浴室などの、水がかかったり湿気の多い場所には設置しないでください。また、下地および商品を水にぬらさないでください。 ※部材が腐食することで商品が脱落し、ケガをする恐れがあります。	 指示実行
外れたり、ガタツキが生じないように、強固に取り付けてください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	 指示実行
湿式壁の場合は、別売りのAYボルトを用意してください。 ※取付面が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	 指示実行
石こうボード等の木ねじのきかないボード張りの壁には必ず取付木（補強木）を設け、ねじ込み深さを確保してください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	 指示実行
取り付け完了後、商品が水平に取り付いていることを確認してください。 ※外れたり、壁が壊れたり、棚の上に置いたものが落下して、使用される方が転倒したり、ケガをする恐れがあります。	 指示実行
取り付け完了後、商品にガタツキがないことを確認してください。 ※商品にガタツキがあると、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、ケガをする恐れがあります。	 指示実行
壁取付ねじを締め付けた際、バリが出ていないことを確認してください。 ※バリが出ていると、使用される方が触ることにより、ケガをする恐れがあります。	 指示実行